

香りと光で害虫と天敵の行動制御

シーズ技術名

植物が持つ防衛能力と昆虫の嗅覚・視覚反応を利用した行動制御技術

技術分野分類 7004：植物保護科学

技術キーワード (43) 植物—昆虫相互作用

産業分類 A01：農業

内 容	概要	植物は、香りを用いて天敵昆虫を誘引し、害虫から身を守っている。また、害虫の種によっては、餌探索の際に植物の香りを用いて食べに行くか、忌避するかどうかを決定する。つまり、天敵昆虫や害虫が誘引または忌避する植物由来の揮発性物質を同定し、利用することで、これらの昆虫の行動を制御することが可能である。さらに、昆虫は、嗅覚だけでなく視覚も利用しているため、香りと光（LED）を併用した行動制御も可能である。
	従来技術・競争技術との比較（優位性）	天敵昆虫を圃場に維持するために景観植物の利用の研究が進められている。また、害虫を圃場から追い出し、圃場周辺に栽培した別の植物に害虫を誘引する技術（プッシュプル法）が注目されている。開発する技術は、植物の代わりに香りや光、給餌装置を設置し、これら技術の簡易化を目指したものである。
	本技術の有用性	農薬使用回数にカウントされない手法で害虫防除が可能。天敵誘引、害虫忌避のための植物の管理、維持が不要。
関連情報 (図・表・写真等)	 <p>天敵誘引剤</p> <p>天敵給餌装置</p>	
適用可能製品	天敵誘引剤、天敵給餌装置、天敵誘引用LED	
技術 シーズ 保有者	氏名 所属・役職	上船 雅義（うえふね まさよし） 名城大学 農学部 生物資源学科 准教授
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	名城大学 学術研究支援センター 産官学連携担当 052-838-2036 / 052-833-7200 sangaku@ccmails.meijo-u.ac.jp

■知的財産

■試作品状況

無

提示可

提供可

作成日 2015年11月2日